

# 組み立て設置説明書

品番 TY-S42PA20  
TY-S37PA20

この説明書は、お客様が大切に保存してください。

お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に、この「組み立て設置説明書」、裏面の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

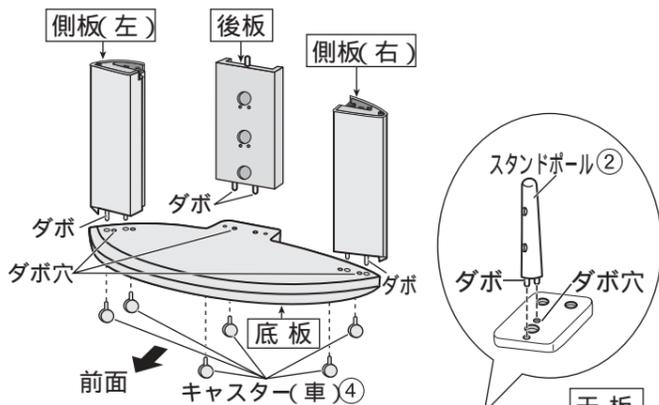
## 付属品一覧表 (本プラズマテレビ台には下記の付属品がありますのでお確かめください。)

No.	部品名	員数	略図	No.	部品名	員数	略図	No.	部品名	員数	略図
①	組み立て用ねじ	6		⑥	ガラス棚支持金具(後)	2		⑪	スピーカー取り付け金具用ねじ	2	
②	スタンドポール	2		⑦	ガラス棚支持金具(右)	2		⑫	スピーカー取り付け用ねじ	2	
③	スタンドポール用固定ねじ	2		⑧	ガラス棚支持金具(左)	2		⑬	コード蓋	3	
④	キャスター(車)	6		⑨	ガラス棚支持金具(後)用固定ねじ	4		⑭	組み立て用ねじ(黒ねじ)	4	
⑤	キャスター座	4		⑩	スピーカー取り付け金具	1		⑮	裏板取り付け用ねじ	6	

## 組み立て方法

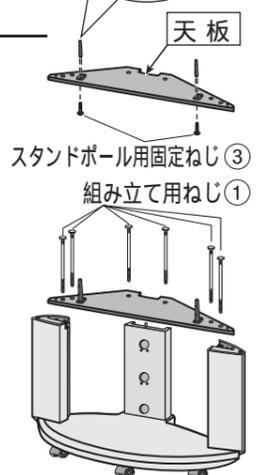
### 1 底板、側板、後板、キャスター(車)の取り付け

- 1) キャスター(車)④(6個)を底板にしっかりと挿入してください。
- 2) 側板(左右)を底板のダボ穴に合わせて挿入してください。
- 3) 後板の下側ダボ2か所を底板のダボ穴に合わせて挿入してください。



### 2 天板の取り付け

- 1) スタンドポール②(2本)のダボを天板のダボ穴に挿入し、下からスタンドポール用固定ねじ③(2本)を、⊕ドライバーでしっかりと固定してください。
- 2) 左右の側板、後板のダボに天板のダボ穴を合わせて挿入し、組み立て用ねじ①(6本)で、しっかりと固定してください。

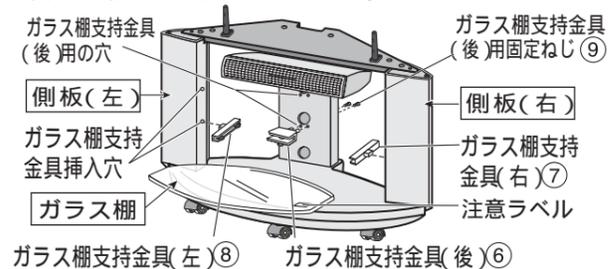


### 3 センタースピーカー、ガラス棚の取り付け

別売のホームシアター用センタースピーカーSB-PC50は本プラズマテレビ台に金具で取り付けが可能です。

センタースピーカーを取り付けない場合 1) 2) は不要です。

- 1) スピーカー取り付け金具⑩(1個)をスピーカー取り付け金具用ねじ⑪(2本)で天板にしっかりと固定してください。
- 2) SB-PC50にスピーカー取り付け用ねじ⑫(2本)を仮固定し、スピーカー取り付け金具に挿入後左右上下の位置を確認して、しっかりと固定してください。
- 3) ガラス棚支持金具(後)⑥(2個)を後板の穴に固定ねじ⑨(4本)でしっかりと固定してください。
- 4) ガラス棚支持金具(右)⑦(2個)を側板(右)に挿入してください。
- 5) ガラス棚支持金具(左)⑧(2個)を側板(左)に挿入してください。
- 6) ガラス棚をガラス棚支持金具の溝に平行に差し込み、支持金具下のねじ(5本)で固定してください。もう1枚も同じように取り付けてください。

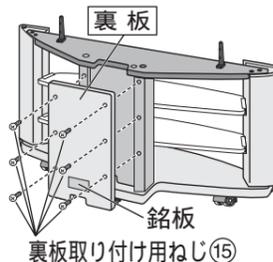


ガラス棚は注意ラベル貼付け面が上面、手前側です。

### 4 裏板の取り付け

取り付け前にビデオなどの機器を接続し、配線処理を行ってから取り付けください。

裏板は切り欠きのある方を下側に、銘板面を外側にして後板の左右に木ねじ⑮(6本)でしっかりと締めつけてください。

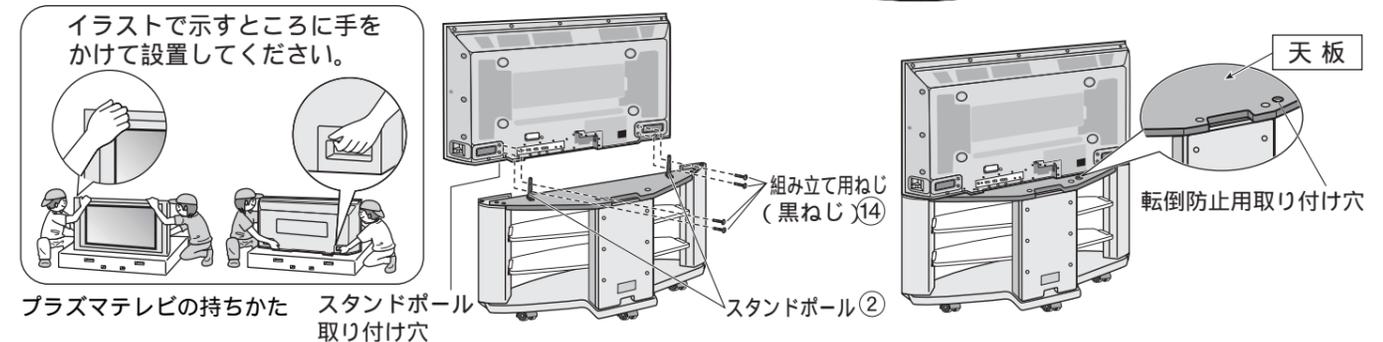


## 設置方法と設置後のお願い

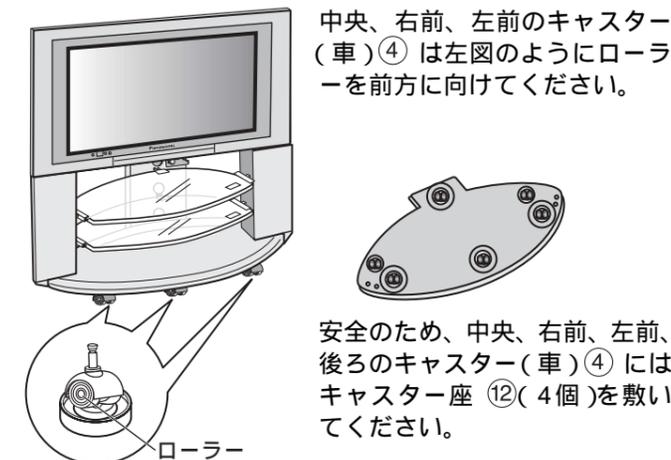
### 1 プラズマテレビの設置と固定方法

プラズマテレビの設置は下記イラストに従いおこなってください。

- 1) プラズマテレビ本体のスタンドポール取り付け穴をスタンドポール②(2本)に合わせ、止まる位置まで入れてください。
- 2) 組み立て用ねじ(黒ねじ)⑭(4本)でプラズマテレビ本体とスタンドポール②を固定してください。

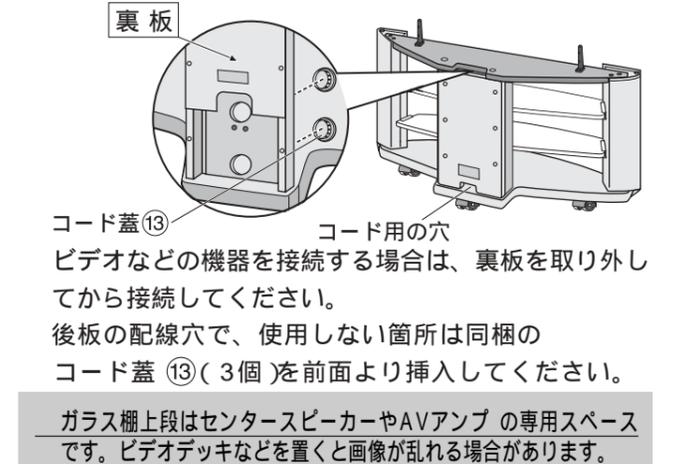


### 2 プラズマテレビの設置方法とキャスター座の使い方



安全のため、中央、右前、左前、後ろのキャスター(車)④にはキャスター座⑫(4個)を敷いてください。

### 3 ビデオなどを収納してご使用になる場合



ビデオなどの機器を接続する場合は、裏板を取り外してから接続してください。

後板の配線穴で、使用しない箇所は同梱のコード蓋⑬(3個)を前面より挿入してください。

ガラス棚上段はセンタースピーカーやAVアンプの専用スペースです。ビデオデッキなどを置くと画像が乱れる場合があります。

## 取り扱い上のおお願い

- 1) 直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形したりすることがありますのでご注意ください。
- 2) お手入れについて  
乾いた布でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。  
なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはげたりしますので、使用しないでください。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
- 3) 粘着性のテープやシールをはらないでください。プラズマテレビ台表面を汚すことがあります。

松下電器産業株式会社 映像事業グループ  
〒567-0026 大阪府茨木市松下町1番1号

— パナソニックお客様ご相談センター —  
電話 フリーダイヤル ☎ 0120-878-365  
FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236  
365日/受付9時~20時

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で説明しています。

**注意** この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

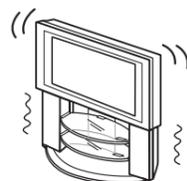
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

## 注意

カタログに記載されているプラズマテレビ以外には、使用しないでください



禁止



プラズマテレビ台に載せられる総質量(プラズマテレビ本体の質量+ガラス棚・底面収納部に載せる機器の質量)を越えて長期間使用されますと破損してけがの原因となることがあります。  
ガラス棚は各12kg、底面収納部は20kgを越える機器を載せないでください。

プラズマテレビ台に乗ったり、踏み台代わりに使用しないでください



禁止

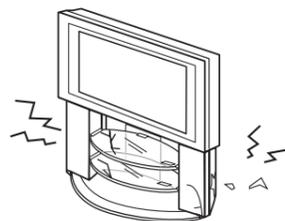


(特に小さなお子様にご注意ください。)  
倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

万一、プラズマテレビ台やガラスに変形・ひび割れ・割れが起こった場合は、使用しないでください



禁止



そのまま使用すると倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。すぐに販売店へご連絡ください。

ガラスを傷つけたり、衝撃を与えないでください



禁止



ガラスは強化ガラスです。使い方を誤ると割れる恐れがあり、けがの原因となることがあります。  
鋭利なものや、尖ったものなどで傷をつけないでください。  
強化処理をしたガラスは、傷が入った状態で長期間ご使用になりますと、傷が進行し自然に破損することがあります。  
傷が入った場合は、販売店に相談して、新しいガラスと取り替えてください。

イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

# 安全上のご注意

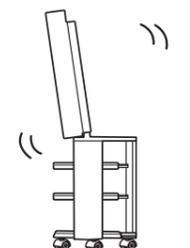
必ずお守りください

## 注意

プラズマテレビ前面部をプラズマテレビ台から、はみ出したり、片寄った載せかたをしないでください

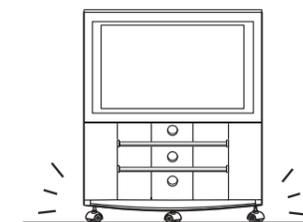


禁止



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。  
きめられた位置に載せてください。

水平で安定した所に据えつけてください



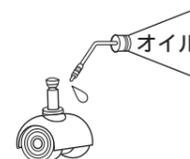
倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

キャスター(車)を使用される場合は、全てのキャスターを確実に取り付け、キャスター座で止めてください。  
不安定な場所ではキャスターをはずしてください。  
(畳や毛足の長いじゅうたんなど)

キャスター(車)には注油しないでください



禁止

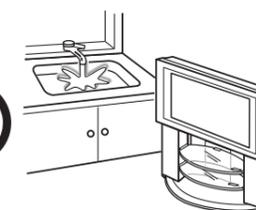


キャスター(車)のひび割れ・破損の原因となり、倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

湿度の高い場所では使用しないでください



禁止



長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

移動させるときは、キャスター座を取り除いてから、移動させてください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

プラズマテレビ設置時に、指をはさまないようにご注意ください



指に注意

けがの原因となることがあります。

組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください  
また、裏板や仕切り板(補強板)は確実に取り付けてください



不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり破損してけがの原因となることがあります。  
機種によっては、仕切り板(補強板)のない台もあります。

プラズマテレビは転倒防止の処置をしてください



地震やお子様がよく登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。  
プラズマテレビの取扱説明書および転倒防止説明書を参照。